



市 章

広報えひな

発行・海老名市役所・海老名市国分155／編集・秘書広報課／電話・31-2111(代)／〒243

世帯と人口

昭和58年6月1日現在
世帯 26,455世帯 (+89)
人口 86,837人 (+149)
男 44,611人 女 42,226人

毎月1日・15日発行



57年の調査結果から

非行の原因は家庭に?

小・中学生の「しつけ」、親の考えは

市教育研究所では、市内小・中学生保護者の家庭教育に関する意識について調査・研究を続けていますが、去年六月に行った市内の小・中学生保護者の「しつけ観」と「しつけに対する意識」の調査結果をのべまとめてみました。調査は小学校六校の千二百六十五人、中学校三校の六百三十八人、計一千九百三十六人の児童・生徒の親に対して、八項目のアンケート方式で行われました。結果として、しつけは親の願いや期待の段階にとまり、具体的な実践には結びついていない、など、青少年非行に悩める現代の家庭と保護者に向かっているのかをきき取りにしたまつた一面も見られます。

しつけの考え方

子供のしつけについての考え方では、「子供の欠けているところをその都度修理する」と「その都度しつけているところをその都度修理する」が一番高率で四八%。次に「しつけの目標を持つてしつけてい

る」が四五%で続いています。

「しつけの目標の内容について」は、「人格形成あるいは性格の形成」「価値意識の形成」が多く、保護者のしつけに対する意識は高いようです。

【教育研究所の感想】

しつけは一回限りの行為で完

成されるものではありません。

欠けているところをその都度

つけているところをその場限り

で、奥行きのないしつけとなっ

てしまします。「しつけの目標を持つてしつけてい

持つて…」と答えた親が望ましいしつけ觀を持つていると思われます。

予想に反して意外に少なかったのは「欲求の統制」(一五%)でした。

【教育研究所の感想】

親として意図的、計画的な

しつけをする必要があり、低次な

しつけをしっかりと定着させて

おき、次の段階のしつけをすべ

きです。

【教育研究所の感想】

親として意図的、計画的な

しつけをする必要があり、低次な

しつけをしっかりと定着させて

おき、次の段階のしつけをすべ

きです。

【教育研究所の感想】

「ほめたりしかつたりする」(一

八・一%)が多く、いわゆる威

格型は少ないようです。

【教育研究所の感想】

中学生の「しつけ」がマスク

を生きやす昨今、小さい時のし

つけがしっかりしていたなら

ば、こうも荒れた中学生になら

なかつたのでは、とも考えます。

【教育研究所の感想】

「ほめたりしかつたりする」(一

八・一%)が多く、いわゆる威

格型は少ないようです。

【教育研究所の感想】

「ほめたりしかつたりする」(一

八・一%)が多く、いわゆる威

格型は少ないようです。

【教育研究所の感想】

「ほめたりしかつたりする」(一

八・一%)が多く、いわゆる威

格型は少ないようです。

【教育研究所の感想】

「ほめたりしかつたりする」(一

八・一%)多く、いわゆる威

格型は少ないようです。

【教育研究所の感想】

